

健保本人 3 割等患者負担増の凍結を求める意見書

サラリーマン世帯の実収入は、この 5 年間で 68 万 3,000 円も減っている。長期不況のもとで国民の暮らしは厳しさを増し、将来不安も高まっている。こうした中で昨年 10 月には高齢者の医療費自己負担増が実施され、治療の中断や薬を減らすなど命と健康にかかわる深刻な事態が相次いでいる。

この上健康保険の 3 割自己負担が実施されれば、働き盛りの方々の命と健康が脅かされるだけでなく、重症患者の増加による医療費の増大を招くことは必至である。また、不況下で疲弊した給与所得者の生活をいっそう悪化させ、不況からの脱出をさらに厳しくする要因ともなる。

よって、本市議会は、政府に対し、健康保険の医療費 3 割負担増の実施を凍結するよう強く要望する。

上記、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出する。

平成 15 年 3 月 20 日

三鷹市議会議長 吉野博明